

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	総合演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年		学期及び曜時限	前期	教室名	303 他
担当教員	太田 珠代 他	実務経験と その関連資格	小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。			
《授業科目における学習内容》						
各疾患の評価・治療プロセスにおいて基礎と臨床を結びつけて総合的に学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題(50%)および実技試験(50%)で評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
実習室を使用し、学生同士で実技練習を行う 課題を実施し、期限までに提出できるよう取り組む						
《履修に当たっての留意点》						
課題の提出期限遅れは加点しないものとする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	問診、医療面接が適切な言葉遣い・声量・笑顔で可能となる	配布プリント	PT・OTのためのコミュニケーション実践ガイドを改めて読んでおく	
		各コマにおける授業予定	フィジカルアセスメント			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	KYTを通して、危険因子を見つけられるようになる	配布プリント	リハビリテーション概論 他のリスク管理について改めて読んでおく	
		各コマにおける授業予定	リスク管理(危険予知トレーニング)			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢の各関節に対し金属ゴニオメーター使用のROM-T、および適切な運動方向への関節可動域訓練が実施できる	配布プリント	運動療法学の教科書を改めて読んでおく	
		各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(関節可動域訓練)			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	下肢の各関節に対し金属ゴニオメーター使用のROM-T、および適切な運動方向への関節可動域訓練が実施できる	配布プリント	運動療法学の教科書を改めて読んでおく	
		各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(関節可動域訓練)			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	上肢の筋に対しMMTで正しく計測でき、筋力増強訓練に関して回数や負荷量を正しく決定できるようになる	配布プリント	運動療法学の教科書を改めて読んでおく	
		各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(筋力強化訓練)			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標 上肢の筋に対しMMTで正しく計測でき、筋力増強訓練に関して回数や負荷量を正しく決定できるようになる	配布プリント	運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(筋力強化訓練)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 整形疾患患者の動作をDVDで閲覧後、評価項目を列挙できる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(バランス訓練)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳血管障害患者の動作をDVDで閲覧後、評価項目を列挙できる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	運動療法の考え方(バランス訓練)		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標 第7回で見た症例の評価計測数値を見て、問題点をあげゴールを設定する		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標 第8回で見た症例の評価計測数値を見て、問題点をあげゴールを設定する		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標 第9回で挙げた評価・ゴールから治療法が考案できる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標 第10回で挙げた評価・ゴールから治療法が考案できる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 整形疾患患者のペーパーペイシエントを使用し、A4レジユメ1枚にまとめることができる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 脳血管疾患患者のペーパーペイシエントを使用し、A4レジユメ1枚にまとめることができる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標 動作観察、評価項目列挙、治療方法決定といった流れを計画のもとどこおりに実施できる		運動療法学の教科書を改めて読んでおく
	各コマにおける授業予定	臨床思考について		